

平成 27 年 7 月 8 日

関係者各位

筑波大学大学研究センター長

徳 永 保

「学生を中心とした大学への発展に向けて」
筑波大学大学研究センター第57回公開研究会のご案内

貴職におかれましては、日頃から当センターの諸活動に対してご理解ご支援を賜りまことにありがとうございます。
ございます。

筑波大学大学研究センターは昭和61年に、大学に関する諸機能を研究し、我が国の大学改革に資する研究を行うことを目的として、筑波大学の東京キャンパス内に学内共同教育研究施設として設置されました。センターでは創設以来、毎年1・2回、高等教育に関する話題や研究上の課題について、広く高等教育に関心をお持ちの方々を対象に公開研究会を開催してまいりました。

我が国の大学は、「教員を中心とした大学」から「学生を中心とした大学」へと、パラダイム転換するさなかにあります。そこで今回の公開研究会は、「学生を中心とした大学への発展に向けて」と題し、8月26日(水)に別紙1の要領で全国大学教育研究センター等協議会主催及び筑波大学教育イニシアティブ機構との共催で開催いたします。

つきましては、関係者への周知方お願いするとともに、皆様方のご参加をご期待申し上げます。参加される場合は別紙2の参加申込書で、7月31日(金)までにお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

「学生を中心とした大学への発展に向けて」
筑波大学大学研究センター 第57回公開研究会

主催 全国大学教育研究センター等協議会

共催 筑波大学大学研究センター

筑波大学教育イニシアティブ機構

日時 2015年8月26日(水) 12時50分～17時45分

場所 筑波大学 東京キャンパス文京校舎 134大講義室 他

開催の趣旨

我が国の大学は、「教員を中心とした大学」から「学生を中心とした大学」へと、パラダイム転換のさなかにあります。そこで今回の公開研究会では、(1) 学生の国際的な単位互換を容易にするためのチューニングの試み (2) 学生の入学から卒業までの支援のあり方を管理するエンロールメント・マネジメントの導入 (3) FDに学生を参画させることで学生の意見を教育改革に活かす活動、という3つのテーマで議論します。

プログラム及びご報告者(敬称略)

12:30～12:50 受付

12:50～13:00 開会挨拶

13:00～16:00 公開研究会 I 「国際的なチューニングの試み」

- ・国際的なチューニングのあり方：深堀聰子・国立教育政策研究所総括研究官
- ・筑波大学でのチューニングの試み：野村港二・筑波大学教育イニシアティブ機構教授
- ・質疑応答

16:00～16:15 休憩

16:15～17:45 公開研究会 II (分科会形式)

分科会 A 「エンロールメント・マネジメント (EM) の導入」

- ・山形大学における EM：福島真司・山形大学 EM 部教授
- ・京都光華女子大学における EM：橋本智也・京都光華女子大学 EM・IR 部専任職員

分科会 B 「学生参画型 FD の挑戦」

- ・学生参画型 FD のあり方：橋本勝・富山大学教育・学生支援機構教授
- ・山口大学の事例：林透・山口大学大学教育機構大学教育センター准教授

【参加費】無料

【お申し込み方法】

先着順で定員に達し次第、受付を締め切りますので、別紙2の参加申込書で、7月31日(金)までにメールにて事前の参加申し込みをお願いします。

【アクセス】<http://www.tsukuba.ac.jp/access/>をご覧ください。

【連絡先】筑波大学大学研究センター(e-mail: rcus@un.tsukuba.ac.jp、tel: 03-3942-6304)

※個人の方で、今後メールでの案内をご希望される場合は、上記メールアドレスにご連絡ください。

